

召天者記念礼拝

2025年11月2日 10時20分～

司式:

奏楽:

「永遠の御国に入る恵み」

《神の招き》

前 奏 『ただ神により頼む者は』 J. S. バッハ
招 詞 ヨハネによる福音書3章16節
賛 美 歌 5 7 5

《神の言葉》

祈 禱 聖霊の照らしを求める祈り
聖 書 サムエル記上2章4～10節 (旧約414頁)
ペトロの手紙二1章3～11節 (新約425頁)

子ども説教
交 読 詩 編 詩編51編1～11節 (60頁)
賛 美 歌 3 7 9 (1～4節)
説 教 「永遠の御国に入る恵み」 八木浩史牧師
祈 禱
賛 美 歌 3 7 9 (5～8節)

《感謝の応答》

信 仰 告 白 使徒信条
召天者記念
献 金
祈 禱 献金当番
主 の 祈 り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派 遣》

頌 栄 26
祝 福
報 告 11月誕生者祝福
後 奏

『サムエル記上』では、不妊の女であったハンナに息子サムエルが与えられます。ハンナはサムエルが乳離れすると、すぐに「主の家」(幕屋)に連れて行き、主に仕える者として献げるのでした。その際にハンナは祈ります。神は力ある者を砕き、弱い者を高める方だと言うのです。「弱い者を塵の中から立ち上がらせ／貧しい者を芥の中から引き上げ」というのは、創世記に記された人間の創造について思い起こしているのでしょうか。私たち人間は皆死んでいきます。そして塵芥になります。元々、人は土の塵から創造されたのですから、塵に戻るのです。しかし神はキリストを復活させたようにして、私たちもいつの日にか、復活させてくださいます。キリストの再臨の日です。

『ペトロの手紙二』は、紀元二世紀初頭に書かれました。この手紙が書かれたのは、偽教師が間違ったキリスト信仰を宣べ伝えて、教会の信徒たちを混乱させていたために、正しい信仰に基づく生活をするよう教えるためでした。キリストが昇天されてから、長い年月が経ちますが、まだ再臨されないということについて、偽教師たちは、キリストの再臨を否定していたのでした。そこでこの手紙の著者は、キリストの再臨は遅くなっても、必ずもたらされるのであるから、備えて信仰者らしく正しい生活をするよう勧めています。私たちもキリスト教徒が少ない世において暮らしていると、キリストはもう来られないのではないかとの疑いが起こり、この世のあり方に埋没して、罪深い生活に引き込まれそうになります。しかし、最後まで正しい信仰に留まる者は、「永遠の御国に入る恵み」に与ることができるのです。

礼拝当番: (役員:) 献金当番:
音響: 映像: